

イチゴ愛華農法・標準使用法

◎水・窒素は通常の30%増が目安です。
一定期的・継続的使用を前提に—

液散布量150リットル、液量は10アール当り

※土耕の標準的イチゴの例ですが、詳細、又、その他の作物については、お気軽にお尋ねください。

月	イチゴ ステージ	エポック			天酵源			地楽園		ターボ8			超人力	
		使用目的	土壌灌注		使用目的	葉面散布	土壌灌注	使用目的	土壌灌注	使用目的	葉面散布	土壌灌注	使用目的	土壌灌注
10 4 5 8	親株床 仔苗発生期 採苗期 苗発育期 苗充実期 花芽形成前 花芽形成前	発育促進 //	1000倍 (15日毎) 親株1株当100cc 苗1鉢当50cc		発育促進 // // 花芽形成促進	5000倍~ (15日毎) // 1000~2000倍 (10日毎)2~3回		発根促進	1000倍 苗1鉢当50cc 月2回	耐病性向上	500倍 親株に2回 500倍 苗に2回			
9 10 11	頂果房分化 植付 腋果房分化 開花・肥大 腋果房分化 頂果房収穫始	活着促進 発育促進 根作り 発育促進	3リットル (15日毎)	1000倍 (瞬間どぶづけ)	発育促進 花芽形成促進	5000倍~ (15日毎) 1000~1500倍 2回		活着促進と 根作り	2リットル					
12 1 2	収穫盛期 液果房分化 腋果房収穫始 (2) 腋果房分化 腋果房収穫始 (3) 腋果房分化	草勢維持 草勢維持 (着色促進) 草勢維持	3リットル (15日毎) 3リットル (15日毎) 3リットル (15日毎)		発育促進 発育促進 発育促進 生育調整	3000~5000倍 (15日毎) 3000~5000倍 (15日毎) 3000~5000倍 (15日毎) 100cc		草勢維持 (根群機能維持) 草勢維持 (根群機能維持) 草勢維持 (根群機能維持)	2リットル 2リットル 2リットル			つや出し 耐病害虫性向上	1000~2000倍 (15日毎) // //	
3 4 5	液果房分化 腋果房収穫始 (4) 腋果房分化	草勢維持 生育調整	3リットル (15日毎) 3リットル (15日毎) 3リットル (15日毎)		生育調整 // //		100cc 150cc 150cc			草勢維持 (玉肥大) 草勢維持 (玉肥大)		2リットル 2リットル	// //	// //
総 使用 金額	① 103,100 円	使用量 60リットル(金額 78,000)			+使用量 2.5リットル(金額 25,100)									
	② 139,100 円	使用量 60リットル(金額 78,000)			+使用量 2.5リットル(金額 25,100)			+使用量 10リットル(金額 36,000)						
	③ 162,100 円	使用量 60リットル(金額 78,000)			+使用量 2.5リットル(金額 25,100)			+使用量 10リットル(金額 36,000)		+使用量 10リットル(金額 23,000)				
	④ 177,100 円	使用量 60リットル(金額 78,000)			+使用量 2.5リットル(金額 25,100)			+使用量 10リットル(金額 36,000)		+使用量 10リットル(金額 23,000)			+使用量 1リットル(金額 15,000)	

(注) 総使用金額①は増収量を目的にした標準使用金額です。 ②・③・④は増収量、耐病気、品質向上に使われます。

殺さない。腐らせない。ストレスを与えない。
弱らせない。寄せ付けさせない。を信条として